



## 第77回 卒業証書授与式 3/8(金)

天候にも恵まれ、春の息吹を感じる3月8日(金)、第77回卒業式証書授与式を挙行いたしました。今年4年ぶりに出席者等の制限をすることなく、永淵孝幸町長様はじめ30名近くの多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜ることができました。

### 39名の卒業生

卒業生は全員マスクを外して笑顔で入場しました。卒業証書授与では、一人ずつ壇上に上がり、担任の中島先生から名前を呼ばれると元気で気持ちの良い返事をしました。その「はい！」の返事の何と素晴らしいこと。卒業生の返事、晴れやかな表情と凛々しい態度に3年間の成長が感じられました。



卒業証書の授与

### 送辞と答辞

在校生代表として生徒会長の杉本嵩虎さんが送辞を述べ、卒業生が最上級生として行事や生徒会活動、部活動に精一杯頑張り下級生を引っ張ったことを讃え、自分たちがそれを受け継ぐ決意を語りました。卒業生代表の答辞は見陣杏奈さん、東嶋花歩さんの二人が述べました。3年間の思い出や家族や先生方への感謝の言葉、そして9年間当たり前のようにならずに一緒に過ごした仲間への感謝の言葉を豊かな表現で語ると会場は感動に包まれました。



在校生代表の送辞

先輩方には学校の顔であることは何をし、どのように振る舞うべきかを教えていただきました。

私たちは先輩方が築かれた伝統を受け継ぎ、さらに良い多良中学校を作り上げていきます。

やっぱり一番の感謝を伝えたいのは家族です。いつも私たちの一番近くで、私たちのことを誰よりも応援してくれました。辛いときの「大丈夫だよ」の言葉にたくさん助けられました。



卒業生代表の答辞

### 別れの歌

全校合唱の「旅立ちの日」は、まず1、2年生が心のこもった声で1番を歌いました。それをうけた卒業生も最上級生らしい力強い歌声を響かせました。卒業生だけで歌った「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」は、「人生という迷路の果てに 信じ合えることの喜びと悲しみを知った分 優しくなれる」という最後のフレーズが心に染みる合唱で、一生懸命な姿こそカッコいいという学級目標を最後まで示しました。



卒業生の合唱

切り取り線

返信欄 (表面) 通信のご感想、本校へのご質問やご意見などお聞かせ下さい。「見ました」だけでも結構です。

## 校長の式辞（一部抜粋）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが入学した時、世界はまさにコロナ禍の真ただ中でした。距離を取った生活や行事の中止を余儀なくされました。また、この年は1年遅れで東京オリンピックが開催された年でした。2年生の時には、感染予防をしながら職場体験などの行事ができるようになってきました。そして3年生になると、コロナが五類へ移行し、通常の学校生活が少しずつ戻ってきました。しかし、常に感染症の不安を抱えながら過ごしたこの3年間は、皆さんにとって窮屈な思いがあったことでしょう。

そのような中でも、皆さんは学年が上がるごとに成長しました。ソーランや応援合戦など、一生懸命な姿こそかっこいいということを示した体育大会。小規模校ながら、多くの部や個人が地区大会を勝ち上がり県大会への出場を果たした中体連。劇のセリフを自分たちで考え、大きな声で堂々と演じた文化発表会。中でも私が一番素晴らしいと思うのは、当たり前なことを当たり前にした普段の生活です。気持ちの良いあいさつ、時間とルールを守った行動、活気のある授業など、最上級生としての皆さんの姿は下級生の良き手本となりました。そして、多良中学校をレベルアップする原動力となりました。そのような皆さんを私は誇りに思います。

皆さんが今手にした卒業証書は、皆さん一人一人がこの3年間頑張ったことの証です。確かな成長とたくさんの思い出が詰まっています。その重みをしっかりと感じてください。そして、深い愛情をもって見守り支えて下さったご家族をはじめ、たくさんの方々への感謝の気持ちを忘れないでください。

卒業生の皆さんは、これから自分が選んだそれぞれの道を歩いていくことになります。そのような皆さんに私が望むことは「挑戦」です。

何もしなければ失敗することはありません。しかし、成功することもあります。また、挑戦しても成功するとは限りません。でも、挑戦して成功が得られなくても成長を得ることはできます。大きな夢がなくても、日々の生活の中にやろうと思えばできることは山ほどあります。要は挑戦するかしないか、一歩目を踏み出すか否かです。

巣立ちゆく皆さんが、日々の小さな挑戦を積み重ね、自分の良さを磨き、仲間とともに伸びて行ってほしいと思います。皆さんの未来が幸せで輝かしいものであることを心から願い、私の式辞といたします。



たくさんの方からいただいた祝詞

## 授業参観、学年懇談会 3/5(火)

授業参観は、総合的な学習の時間に調べたことを生徒一人一人が発表しました。1年生は福祉について、2年生は職場体験で学んだことについて、自作のスライドを使って行いました。同じことを扱っていても発表の視点や内容、スライドの作り方に個性が表れていました。また、タブレット（一人一台端末）の活用が進んでいることも再確認しました。



1年生の福祉についての学習発表会

-----切り取り線-----

返信欄（裏面）生徒氏名（ ）年（ ）組（ ）